



つなぐ



賢い選択

「中小企業向け省エネセミナー」を開催しました

- 2019年10月21日(月) 宇部市文化会館
- 2019年10月29日(火) 周南市徳山駅前賑わい交流施設

昨年度同様、経済産業省の省エネプラットフォーム等実施機関と連携し、県内の中小企業の皆様を対象に、地域性や業種に合わせた総合的な省エネや節電等に関する取り組みをご提案し、経営の合理化をサポートするためのセミナーを宇部市と周南市で開催しました。

中国経済産業局から、省エネ政策の最新動向及び支援制度について講演があり、その後、(一社) エネルギーマネジメント協会の講師2名から、中小企業での具体的な省エネの取り組みについて実例を示しながら解説がありました。セミナーの後には、個別の相談会を実施しました。



「推進員全体研修会(報告会)」を開催しました

- 2月3日(月) 山口市小郡ふれあいセンターで推進員全体研修会(報告会)を例年通り実施しました。

山口県地球温暖化防止活動推進センター(以下、「山口県センター」という)からは、2019年度活動実績の中間報告と、2019年9月に行われた令和元年度中国四国ブロック合同推進員研修会に参加していただいた推進員の皆様に登壇していただき、研修会の成果報告をしていただきました。

7月の研修会同様、気象予報士の坂本京子氏を講師に迎えて「今さら聞けない天気のはなし～空を見る・雨、風、日差しを感じる～」と題し温暖化と異常気象の関係について講演いただきました。夏によくみられる「積乱雲」と「乱層雲」は、天気に大きな影響を与える厚みのある雲で、近年は温暖化により、気温が上がり、空気中に常に水蒸気が含まれているので、積乱雲や乱層雲ができやすく、災害がおきやすくなっています。今後は、天気予報、防災情報は、自分の住んでいる地域のみを見るのではなく、近くを流れている川の上流や山頂の天気にも注意を向け、実際に空を見上げて、雲を見て、災害を予測する必要があります。公演中は、炭酸抜け防止ペットボトルキャップとペットボトルを使って雲を作る実験を行うなど、温暖化と異常気象の関係の理解を深めるとともに、非常に有意義な時間を過ごさせていただきました。



令和元年度中国四国ブロック合同推進員研修会の成果報告～制作したミニコミ誌の発表～

研修テーマ： 「掘り起こせ！未来へ続く地域のチカラ」～持続可能な地域づくりにむけて～
 日時：2019年9月5日（木）6日（金） 場所：島根県松江市の松江テルサ

- 山陰中央新報社の方を講師にお迎えして、取材時に必要な姿勢（傾聴や評価、課題の洗い出し等）や相手とのコミュニケーションの取り方、記事を書くコツ等を学び、実際に他県の推進員とペアを組み、日ごろどんな活動をしているのか？課題や現状は？また、それらがSDGsや地域循環共生圏とどのように繋がっているのかを掘り起こしながら、ミニコミ誌（記事）を制作しました。

山口県推進員と山口県センター職員がインタビュアーとなり、他県の推進員、センター職員を取材して制作した6つの記事を掲載いたします。



地方が抱える活性化の現状

問題点とジレンマ

島根県の推進員さん

島根県浜田市在住の坂東明子さんは、地球温暖化防止活動推進員や、エコライフ協会で活躍。特に子供たちに環境の大切さを知ってもらう活動を熱心に取り組んでいます。次の世代を担う子供たちは地域の宝と話す姿と、未来に夢を託そうとする活動に感動を覚えました。

その坂東さんが、最近気にしているのが、マイクロプラスチック問題で、特に島根県の海水から、人工芝が砕けたのではと思われるプラスチック成分が見つかり、心を痛めています。

川から見つかったプラスチック成分の23%が人工芝という話もあり、原因と思われるゴルフ場やサッカー場の開発に警鐘を鳴らしています。地域の活性化は大切です。でも子供たちの事を考えると、今、何とかしなければとジレンマと闘っています。

SDGs 14 海の豊かさを守ろう

SDGs 3 健康と長寿を促す

SDGs 6 安全な水とトイレを世界中に

SDGs 15 陸の豊かさも守ろう

岩国市 恩田さん

五色台自然楽校で満喫を!

自然素材アートを作ろう!!

香川県の推進員さん

好井智子さんは、4年前に教員を退職され、現在香川県坂出市の五色台ビジターセンター職員として在籍。日頃から環境問題に興味を持たれ、ボランティア団体「五色台自然楽校」を開校されています。

同楽校の方針である「いつでも」「どこでも」「だれでも し・ぜ・ん・か・ん・さ・つ」を合言葉に草花や生き物に触れ合うイベントが、毎月第一日曜日に開催。親子連れが森での散歩などを通じて、四季折々の山々を見ることができます。

テーマはその都度決めて1時間目は自然観察の時間、2時間目は森づくり体験の時間、3時間目は総合楽習の時間として、現代ナチュラルアート作品などの体験ができます。是非とも皆様足を運んで体験してみてください！

SDGs 14 海の豊かさを守ろう

SDGs 15 陸の豊かさも守ろう

光市 原田さん

インタビューされた人

インタビューした人

いつ?どこで?
誰が?何を?
なぜ?
どのように、
どうした?



他の人に知ってほしい事、知らせたいと思うことを!

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



年間 1,200 人の小学生に環境教育

香川県の原口推進員

香川県の 推進員さん

原口推進員は持続可能で地域に根ざした温暖化
 に対する自己実現を実行しています。数々の実
 地体験方法を教えて頂きました。

地区神社の総代をしておられ、森の手入れや落
 ち葉を清掃し、所有している畑に肥料として使っ
 ています。また、畑でいちじく栽培を行い収穫できるように研究を
 重ねて 1 本で 3 千個、大きさも 7 cm と大きく、販売できるよう
 になりました。かみきり虫が近づかない様にコーヒーのガラをまき、
 臭いで撃退しています。

他にも、18 cm 以上の緑のカーテンを作り、熱を遮断しています。
 生ごみの 85% は燃えるゴミに出さずに、フタ付プラスチック箱に
 入れ肥料としています。

現在元気でいれるのは、親の恩を忘れず人の為に役立つ事をして
 いるからと話されています。



岩国市
松金さん

私のライフワーク

温暖化防止活動！！

徳島県の 推進員さん

毎年 20 件以上の活動を積極的にやっておら
 れる、岡山県金光町の鍋谷和彦さんを紹介しま
 す。

推進員になられたきっかけは、勤めておられ
 た職場の同僚のすすめで、始められたのが「地
 球温暖化防止活動推進員」だったそうです。

主な活動として、小学 4、5 年生への環境教育の「出前授業」、
 社会人向けには「公民館講座」としての講師。行政の応援では「エ
 コ工作」を担当しておられる。

団塊の世代生まれで、エコフェスタについてなどエネルギー
 にお話して下さいました。今年で、14 年目になられるベテラン
 推進員さんです。



下松市
和崎さん

中村将大はなぜ職員に？

センター職員への道のり

高知県センター 職員さん

高知県センターの中村さんは、前職は自動車
 屋を営んでおり、当時から車の排気ガス問題が
 気になりお客様と植林ツーリングを行う等、環
 境問題に少し興味があったので、環境問題の仕
 事に就きたいと思い、まずはプロジェクトスタッ
 プ兼推進員として 1 年働いたのち、意願のセン
 ター職員になりました。

それから 6 年、今ではセンターに欠かせない人となり、高知道に
 電気自動車の急速充電の設置や県・市・企業との事業や学生推進員
 を増やす事など、毎日忙しく大変な仕事ですが、休日には趣味のキャン
 プで心身ともにリフレッシュしています。

さらに、仕事と趣味を融合させて来年の四国サミットをキャン
 プ場で開催する企画を立案するなど、楽しみながら仕事をしています。



山口県センター
石川

地球温暖化防止待ったなし

学生四国エコサミット開催

8 月 29 日と 30 日、愛媛県道後温泉にて、第
 3 回学生地球温暖化防止活動推進員四国サミット
 が開催されました。

次世代を担う若い人が防止対策や啓発活動、活
 動事例、ワークショップを通じて、なかなか進ま
 ない防止対策を若い世代が自分事として発信していく事の重要性を
 強く感じます。

徳島県の温暖化防止対策を担う徳島センターの阿部篤さんによ
 ると、徳島大学の 1 回生は環境授業を選択すると単位が取れ、セン
 ターより推進員として委嘱されれば、実際に活動が出来ます。イ
 ベント等に参加すると報酬がもらえる学生とお互いにいい関係が作
 れています。

卒業後も環境に携わる仕事や研究者として残る学生も数名おりま
 す。学生が取り組む活動が、全国に広がれば地球の未来も明るい！！



山口県センター
田部



新教材のご紹介

NEW

●温暖化防止普及啓発用の教材「すごろく」を制作しました。

①～⑩の問題の内容（テーマ）を自由に変える事ができ、より多くの分野から温暖化に繋がる事を啓発できる教材です。

初回は、小学生低学年向けの温暖化の基本問題1種類になりますが、今後、問題の種類を増やしていきたいと思っております。

4セット【コマ：各5～6（ペットボトルのキャップ）、サイコロ：各1個】

問題の内容が知りたいからは、センターまでご連絡ください。



●エアロバイク型発電機を導入しました。

エアロバイクと発電機が一体となっていますので、今までと違い、自転車は必要ありませんので、小さなお子様でも使用いただけます。

本体も、コンパクトに折りたたため、セッティングも簡単になりました。動かしたいおもちゃや扇風機、ラジカセをコードに繋ぐだけです。イベント等で是非ともご活用ください。

※ペダルを漕いだ時のモーター音が大きいです。

※教材の貸出については、利用申込書を提出していただいた順となりますので、ご了承ください。



●COOL CHOICE賛同票（個人）が新しくなりました。

QRコードをスマホで読み取ると、最短5ステップで登録完了！

COOL CHOICEへの賛同のほかにも、これから取り組みたいCOOL CHOICEの行動を選択していただく設問が追加されました。

地域での回覧や施設での掲示等にもご活用いただければ幸いです。



発行：山口県地球温暖化防止活動推進センター
（公益財団法人山口県予防保健協会内）

〒753-0814 山口市吉敷下東三丁目1-1
電話 083-933-0008 タイムイン「9」 FAX 083-923-5567
URL : <http://www.yobou.or.jp/ycccachome>